

# ユーストカー NEWS

毎月1日発行  
 第57号 定価 540円 (本体500円・送料別途)  
 本社 東京都新宿区高田馬場3-23-3 ORビル6階  
 ☎ 03(3371)9340 FAX 03(3371)9596 www.u-car.co.jp  
 本紙の無断転載・複製を禁じます

購読・広告のお申し込みは  
**☎03-3371-9340**  
 発行所 (株)ユーストカー (株)ユーストカードットコム

無料版

1月号



「買取・商談の掟④」  
 《21・22面》

最強買取店の教則レクチャー

ポルシェ・マカン



《6面》

人気モデル「解体新書」



一方、2018年に車検を迎える台数は146万3千100台。16年に比べると3・1%多いものの、昨年に比べると7・9%減。つまり、「新車不調／中古車AA相場好調」という傾向は、間違いないようだ。

2面へつづく

2017年は、車検を迎える車の代替えが一気に集中する「当たり年」だった。これを3つのロケットに表し、相場がどう動くかを予想した昨年の本紙新年号は、大きな反響を呼んだ。

そうした中で、新年の第1号目となる今回も、多くの読者のリクエストに応じて、2018年の予想を紹介したい。本紙が得意とする中古車AA相場の動向を軸として、中古車輸出、小売り店の声も紹介。この記事参考に、今年の戦略づくりに是非、役立ててもらいたい。

〈中古車AA相場〉  
 車検代替えから読み取る  
 2018年の相場動向

一年の中古車AA相場を占うにあたって、重要になるのが「新車登録から3年目・5年目・7年目の車両台数」といえる。これは新車購入(買い替

え)で、最も強い動機となるのが車検だからだ(本紙2017年7月号24面参照)。

買い替えによって下取り車が発生し、その多くが中古車として流通することを考えれば、新車登録後3年目・5年目・7年目の合計台数が多い年は「新車好調／中古車A

A相場低調」となり、車検台数が少ない年は「新車不調／中古車AA相場好調」となるのは論を待たない。

前年の本紙新年号でお伝えした通り、2017年は近年まれにみる新車販売が好調な年だった。本稿執筆時は、まだ17年の軽を含む新車販売台数の確定前だが、それでも1〜3回目の車検を迎えた台数は合計で158万8000台。141万9千600台規模だった16年に比べて12%も多かった計算だ(2面グラフィ1参照)。

**AIS** 基礎から応用の一貫した検査研修プログラム  
 1Day基礎研修～検定3級～2級～1級まで

★こんな方におすすめ

- 確かな検査技術を身に付け下取り、仕入時、損失を回避したい
- 理論的に基礎から学び、自己流脱却したい
- 素早く検査ができるようになりたい
- 商品車を正しく説明、商談スキルアップ
- 料金15,800円～

お問い合わせは  
 AIS本社 TEL.03-3512-6118 詳しくは  
 AIS検定センター TEL.047-481-5541 AIS研修 検索

研修施設 全国拡大中!!

検定センター (千葉県)  
 関西特設センター (兵庫県)  
 中部研修センター (愛知県)  
 九州検定センター (福岡県)  
 札幌会場、仙台会場 etc.

店舗出張タイプもございます。



《1面からの続き》

今年の3回目車検は  
前年比15%減

では今年、新車登録から3年目・5年目・7年目を迎える車の内訳を見てみよう。

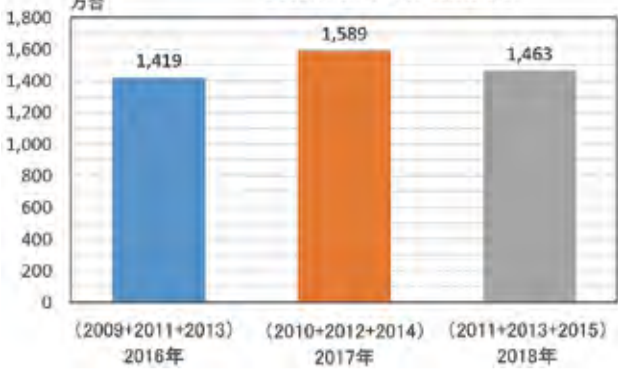
3年目の車両台数は504万6000台規模。5年目は537万5000台、そして7年目は421万台という内訳だ(グラフ2参照)。

冒頭で車検が買い替える強い動機となると記したが、本紙の調査の結果でもっとも多く買い替えられていることが判っている。そして問題は、今

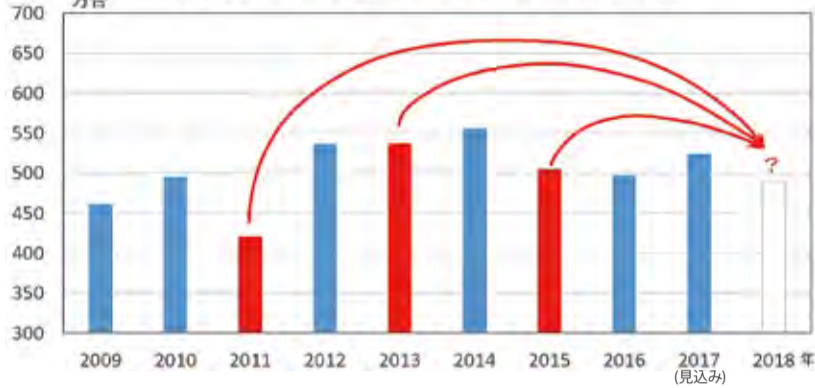
うことだ。

昨年における7年前、すなわち10年登録の新車

グラフ1 過去3回の車検を迎える年式の台数合計(含軽自動車)



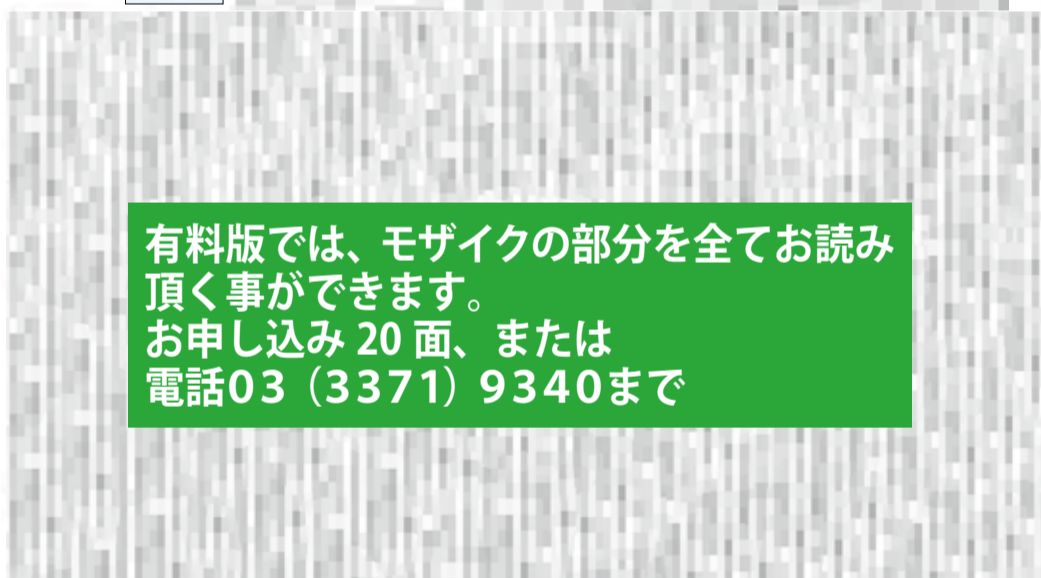
グラフ2 年別新車登録台数推移(含軽自動車)



グラフ3



グラフ4



有料版では、モザイクの部分をお読み頂く事ができます。  
お申し込み20面、または  
電話03(3371)9340まで

ことも気がかりだ。

中古車AA相場好調は

だが、今年の「新車不調」/中古車AA相場好調は、通年の傾向ではない。

注意が必要である。それを示すものとして、月ごとの車検台数推

移を見てみよう(グラフ3参照)。それをご覧いただければ判るように、昨年と

仕入れには注意が必要

最後に、新車登録から5年目を迎える車両の月ごとのAA平均価格の推移を、16年と17年で比較してみよう(グラフ4の青線と青の破線参照)。

16年において新車登録から5年目だった車両は、震災の起こった2011年に新車登録されたものだ。

グラフの青の破線が示すように、11年登録車

もう1点、このグラフ4で注目して頂きたいことがある。12年登録車の中古車AA相場の推移だ。

だが、2年前の16年に3年落ち(13年)と5年落ち(11年)だった中古車は、今年は5年落ち、7年落ちとなる。グラフ4で赤い破線(11年)と青い破線(13年)は、ど

の仕入れは、慎重にならなければいけないだろう。

以上、昨年と一昨年の中古車AA相場をもとに今年の動向を予想したが、このほか今年にはクラウンやカローラといった主要車種のフルモデルチェンジが伝えられている。これら新型車の発売動向もAA相場に大きく影響するので、注意が必要だ。

下取り・買取りのプラットフォームにおいて、相場下落前に高取りして損を被らないように、本紙を参考にしながら、AA

2018年、JUF福島は今年も全員参加で邁進します

1月25日11時スタート

2レーンオープン  
海鮮まつり記念AA

1月より2レーン開始します

※写真はイメージとなります

1月11日 12時スタート  
2レーンプレオープン・  
支部合同AA

1月18日 12時スタート  
福島支部担当・  
雪まつりAA





相場の動きには、常に敏感でいて頂きたい。

### 〈中古車輸出動向〉 ミャンマーの行方は 引き続き注目

2018年の内外経済の見通しは、北朝鮮を巡る地政学的リスクには引き続き注意が必要だが、

おおむね堅調な推移が見込まれている。しかし、今年の中古車発生量も減少することが予想され、中古車輸出をはじめ総じて好調だった昨年からの一転、厳しい一年になりそうだ(左表参照)。

とくに今年前半においては、先に述べた理由により中古車発生量に期待ができません、経年車を受け入れていく国にとって、影響が出そう。逆に秋以降は、翌年予定されている消費増税の駆け込みや、五輪景気も加わって、新車販売が促進。中古車発生量は拡大するので、中古車輸出も後半は期待できるのでは

ないだろうか。一方、中古車輸出に関する相場動向において、最も気になる点は、最後の駆け込み需要が発生するミャンマーの行方だ。昨年10月16日に「18年以降、右ハンドルの中古車輸入全面禁止」が発表され、一気に駆け込み需要が高まると思われたが、逆に10月単月では輸出数は半減した。現地では

昨年未までどの程度

するのではなか。現時点で、18年の中古車輸出を占めるのは難しいが、上位10位までの仕向け国毎の傾向は、本紙4面で予想し、分析してみたので、詳細はそこを参照頂きたい。

### 〈中古車販売〉 小売り市場は低空飛行 各社がとる対応は?

さて、これらの動向を踏まえて、最後に2018年の中古車小売り市場について聞いてみた。

今回、大手から中小の中古車販売店に取材すると、「ここ最近の動きから極端に落ちることはなく、2017年と同等の動きはあるだろう」という声意外にも多かった。

ただ、これまで本稿で述べてきたことを考慮すると、今年の中古車小売り市場は良くて前年並み、実際には前年よりも少し悪くなる、とみるの

が正解ではないだろう。また、販売台数の減少と同時に起こることは

では、こうしたなかで、どんな取り組みをして、この新しい年を歩んでいくのか。そんな具体策についても聞いてみた。

ある販売店では、

有料版では、モザイクの部分をお読み頂く事ができます。お申し込み20面、または電話03 (3371) 9340まで

と思うが、今年はその期待がなしということだ。

ある大手チェーンの社長も人材については、違う視点でこう語る。

行なっていく。一方で、別の販

売店では、車をたくさん売りたいからといって、顧客をただ増やすのではなく、その中身にも注目をすべきだと話す。

各社ともに何らかの方向性を打ち出していたが、「何もしままだと急激に落ちていく。これまでとは違う手を打たなければいけない重要な年と語っている」。そんなふうに語った、ある大手販売店の店員の言葉が印象に残った。

さて、今年の中古車市場は我慢が強いられそうなの雰囲気だが、前述の通り2019年10月には消費税率が10%となり、早ければ、今年年末には駆け込み需要が発生するかもしれない。

また、その後の反動もあるが、2020年にはオンラインピックも控えていて、自動車メーカーはそこに合わせて、次世代技術を搭載した新型車を続々と出してくる。

そうした今後の動きも考慮し、中古車市場をウォッチしていくことが重要だ。

(輸出予想の協力はソウイング中尾聡社長)

## ima 新春初荷&新神戸会場オープン1周年記念オークションのご案内

**新春初荷オークション**

**IMA 幕張会場** 第1263回 オールトラック 新春初荷記念  
1月10日(水) 11:00スタート  
▶新コーナー“5yearsコーナー(初年度登録5年以内のトラック)”スタート

**IMA 九州会場** 第879回 オールトラック 新春初荷記念  
1月11日(木) 11:00スタート  
▶新コーナー“限定30台お楽しみコーナー”スタート

**IMA 神戸会場** 第1424回 オールトラック 新春初荷記念  
1月12日(金) 10:00スタート  
▶新コーナー“コーナー5000(軽・商用車・乗用車専用)”スタート

**新春初荷オークション 来場記念品**  
エナジーリンク「You Max」をプレゼント  
毎日戦うあなたにエナジーチャージ

**1月12日(金) 新神戸会場オープン1周年記念**  
来場抽選会開催  
抽選で「灘の地酒」をプレゼント!  
豪華弁当のご提供  
たい焼き、甘酒の屋台を出店

**いすゞモーターオークション新規入会・紹介キャンペーン**  
2017年12月1日(金)~2018年1月31日(水)まで

**新規入会者特典**  
「いすゞギガ」1/43ミニチュアカー&出品・落札お試し券30,000円相当プレゼント!

**紹介特典**  
紹介者が入会した場合「いすゞギガ」1/43ミニチュアカー&商品券20,000円相当プレゼント!